

共済懇談会の主な意見と要望

本組合が独自で実施している共済懇談会は、組合員の皆様に共済制度をご理解いただき、より一層有効にご活用いただくことを目的に、毎年開催しており、本年度においても、下記の4会場で開催し、301名の組合員の皆様にご出席をいただきました。

当日は、「医療保険制度」・「公的年金制度の現況」・「保健事業における疾病予防対策事業等」について、ご説明申し上げた後、共済制度全般に対するご要望等(事前にいただいたご要望含む。)について、会場ごとにご出席いただいた職員側議員の方々を中心に回答をさせていただきましたが、去る10月23日の職員側議員協議会においては、各会場から寄せられたご要望等の全件をあらためて検証していただいております。

今後は、平成28年度予算編成時において、更なる協議をし、実施できるかどうかの判断をしていただく運びとなっております。

なお、今年度の共済懇談会にご出席いただきました組合員の皆様及び開催にあたり、ご協力いただきました各所属所の共済事務担当者の皆様にあらためてお礼申し上げます。

つきましては、平成27年度共済懇談会において出された主なご意見・ご要望を、一部抜粋してお知らせいたします。

(共済懇談会資料及び議員協議会での検討状況(共済懇談会のまとめ)につきましては、共済組合ホームページに掲載しております。)

懇談会 会場一覧表

開催日	選挙区	議 員	開催場所	参加人数
9月28日(月)	第3区 第5区	坂本 善雄(深谷市) [欠席] 持田 明彦(小川町)	寄居町役場 6階大会議室	68名
9月29日(火)	第4区	金田 敬司(越谷市) [欠席] 白井 正(吉川市)	宮代町「進修館」 大ホール	61名
10月1日(木)	第2区	田中 廣美(所沢市) 松本 貢一(新座市) 横溝 光男(川越市)	川越市「氷川会館」 2階「桐」	82名
10月6日(火)	第1区	國分 政義(さいたま市) 板山 裕樹(草加市) 川野 道広(川口市)	さいたま市「さいたま共済会館」	90名
合計				301名

短期給付関係

Q 標準報酬制移行に伴い、医療費など、現在の制度との変更点を伺いたい。

A いままで給料月額を基準にしておりましたが、標準報酬の月額を基準にして、負担区分を決定したり休業給付等の計算を行うようになります。

10月からの変更内容は次のとおりです。

①医療費関係

高額療養費の自己負担限度額の計算、限度額認定証と特定疾病療養受領証交付時の負担区分に変更が生じる場合があります。

②休業給付

給料日額に手当率を乗じて計算しておりましたが、実際の手当を含む標準報酬の日額に変更になりますので、個々の手当額によって給付額が増減する場合があります。

③災害給付

給料1月分 × 手当率1.25で支給しておりましたが、標準報酬の月額を支給するよう変更になります。

④附加給付

上位所得者に該当する給料月額424,000円以上が、標準報酬の月額530,000円以上に変更となります。

長期給付関係

Q 年金一元化に伴い、年金の受取額など、現在の制度との変更点を伺いたい。

A 今回の年金一元化による厚生年金との統合により、制度的な差異は原則厚生年金に揃えられることとなります。また、共済年金独自の職域部分は、廃止となりますが、27年9月までの職域部分は「経過職域部分」として残り、27年10月以降は新たに「年金払い退職給付」が創設されることとなります。

Q 年金定期便のようなお知らせがほしい。

A これまでも公務員独自に59歳通知という形式で年金記録をお知らせしておりましたが、27年10月の一元化以降は、厚生年金と同様の「ねんきん定期便」をお送りすることとなります。



持田議員 (寄居会場)

福祉事業関係

1 保健事業関係

Q 人間ドック等の助成金額を増額してほしい。

A 助成金額の増額については、職員側議員協議会等において慎重に検討して参ります。



田中議員 (川越会場)

Q インフルエンザ予防接種助成の助成金額を増額してほしい。

A 助成金額の増額については、職員側議員協議会等において慎重に検討して参ります。

Q カウンセリングの指定機関を増やしてほしい。

A 具体的なカウンセリング機関名を連絡いただければ交渉しますので、遠慮なく共済組合までご連絡ください。



國分議員(さいたま会場)

Q 心臓ドックの助成をしてほしい。

A 限られた予算の中で新規事業を実施することは難しい状況ではありますが、心臓ドックは、心筋梗塞などの突然死の予防に有効な検査であると認識しておりますので、職員側議員協議会等で検討して参ります。

Q 共同主催の球技大会を毎年開催してほしい。

A 各種球技大会等については、関係機関より廃止を含めた指導がされているところであり、また、保健経理における財政状況に鑑みて、各関係機関と調整の上、平成22年度から現在の開催方法に決定した経緯がありますので、当面は現行の開催方法でお願いしたいと考えております。

Q 「えらべる倶楽部」が利用できる店舗を県内地域に偏りがないようにしてほしい。

A 現在「えらべる倶楽部」では、契約施設の少ない地域に重点を置いて施設側と交渉を行っていますが、施設側の都合により契約まで至っていない状況です。

今後も県内で偏りがないように施設側と交渉をしていきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。



板山議員(さいたま会場)

Q 「えらべる倶楽部」を廃止してほしい。

A 「えらべる倶楽部」は、保健経理における厳しい財政状況を受けて、事業費用圧縮のため民間宿泊施設助成の廃止をはじめ保健事業全般の見直しを図ってきた中、その見直しに伴う影響を少しでも緩和する目的で導入したところであり、また、平成26年度の費用対効果が約6,000万円生じていることから、有効に利用されている組合員の皆様もいらっしゃると思いますのでご理解をお願い申し上げます。

2 貯金事業関係

Q 共済預金の利率について、現行の支払利率(1.8%)の維持もしくは引上げをしてほしい。

A 共済預金にかかる資金運用の環境については、厳しい状況が引き続いていますが、平成28年度の予算編成期に慎重に検討して参ります。

Q 共済預金口座を全国のATM(コンビニ等)で使用出来るようにしてほしい。

A 共済預金は、銀行法に基づく預金でないことからご要望にお応えすることは出来ませんのでご理解をお願いいたします。



松本議員(川越会場)

Q 共済預金のキャッシュカードをICチップ対応にしてほしい。

A 多大なシステム開発費用等が必要となることから、ご要望にお応えすることは難しいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。



金田議員(職員側議員協議会)

3 物資事業関係

Q 共済組合が契約する店舗や業者を群馬県内にも増やしてほしい。

A 具体的な店舗名や業者名をご連絡いただければ交渉しますので、遠慮なくお申し出ください。

草津保養所関係

Q アルペンローゼの宿泊予約をインターネットから出来るようにしてほしい。

A インターネットからの宿泊予約については、客室数の多い都市型保養施設で主に導入され

ておりますが、アルペンローゼは保養型施設であるため、客室数が36部屋と少なく、初期導入費用やシステム維持費用等を考慮した場合、費用対効果が低い、また、現在の宿泊予約方法は、共済組合施設課とアルペンローゼにおいて同時に受付を行っている状況ですので、インターネット予約を導入した場合に重複予約が懸念されることから、現時点においては、インターネット予約の導入については難しいと考えます。しかし、インターネットが普及した現状を踏まえて考え、今後、研究をさせていただきたいと思っております。

今後も組合員とご家族の皆様がくつろげる施設を目指し、努力して参りますので、引き続きのご愛顧をお願い申し上げます。

施設利用補助関係

Q 「スキーの家」及び「その他の施設」の宿泊助成を復活させてほしい。

A ご要望の「夏季・冬季施設利用助成(海・山・スキーの家)」、「夏季・冬季借上施設(海・山・スキーの家)」及び「福祉施設利用助成(指定旅館・その他の施設)」における宿泊助成事業については、保健経理財政を確保するために平成21年度に民間宿泊施設に対する助成事業を廃止し、福利厚生アウトソーシング事業へ移行した経緯がございますので、ご要望の助成事業の復活については難しいと考えます。ご理解をお願いいたします。

なお、民間宿泊施設助成については、アウトソーシング事業であります「えらべる倶楽部」において、通年で1,000円の割引、特定加重期間については2,000円加算して3,000円の割引となっており、割引が受けられる対象範囲が、本人と配偶者を含めた2親等以内のご親族となっております。そちらをご活用くださるようお願いいたします。



横溝議員(川越会場)

Q

レクリエーション施設を追加してほしい。

A

各会場においてご要望をいただいた新規レクリエーション施設の契約につきましては、早速、契約交渉をさせていただきます。ただし、施設側の都合で契約できない場合もございますので、その点につきましてはご理解の程お願いいたします。



白井議員(宮代会場)

Q

利用補助券の利用状況を組合員自身で管理できるチェックシートがほしい。

A

組合員ご自身で利用回数をチェックするためのシートについては、レクリエーション施設助成券に係るチェックシートを本組合のホームページにて対応しておりますのでご紹介をいたします。

本組合 HP のトップページにあるレクリエーション施設バナーをクリック→施設一覧(PDF ファイル)をクリック→レクリエーション施設一覧表が表示されるのでプリントアウト

一覧表に施設利用チェック欄がございますので、ご活用をいただければと思います。

なお、契約保養所についてはチェックシートを作成しておりませんので、今後、研究をさせていただきます。



川野議員(さいたま会場)

その他関係

Q

『共済事業のあらまし』について、必ずしも紙面で必要ない職員もいる。経費削減の面からも web で閲覧できるようにしてほしい。

A

『共済事業のあらまし』は組合員の皆様に共済制度の内容及び事業をご理解いただき、有効活用いただくために作成させていただいており、毎年、新年度に入る前に、全所属所に対し配付希望部数のアンケートを行った上で、当該必要部数を配付させていただいております。

27年度においては、51,189部、組合員の約94%の方に配布している状況です。

今後も、引き続き、経費節減に努めて参りますので、現行の方法について、ご理解をお願いいたします。

なお、本組合のホームページにおいて『あらまし』の内容をほぼ網羅しておりますので、こちらも有効にご活用いただきますようお願い申し上げます。



坂本議員(職員側議員協議会)